

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 180-8580

住 所 東京都武蔵野市西久保一丁目25番8号

氏 名 株式会社 すかいらくホールディングス

代表取締役

谷 真

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社すかいらくホールディングス		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 宮前区菅生5丁目2番18号		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	M	宿泊業、飲食サービス業
	中分類	76	飲食業
主たる事業 の内容	レストランチェーンの運営		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	4,260	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t →CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

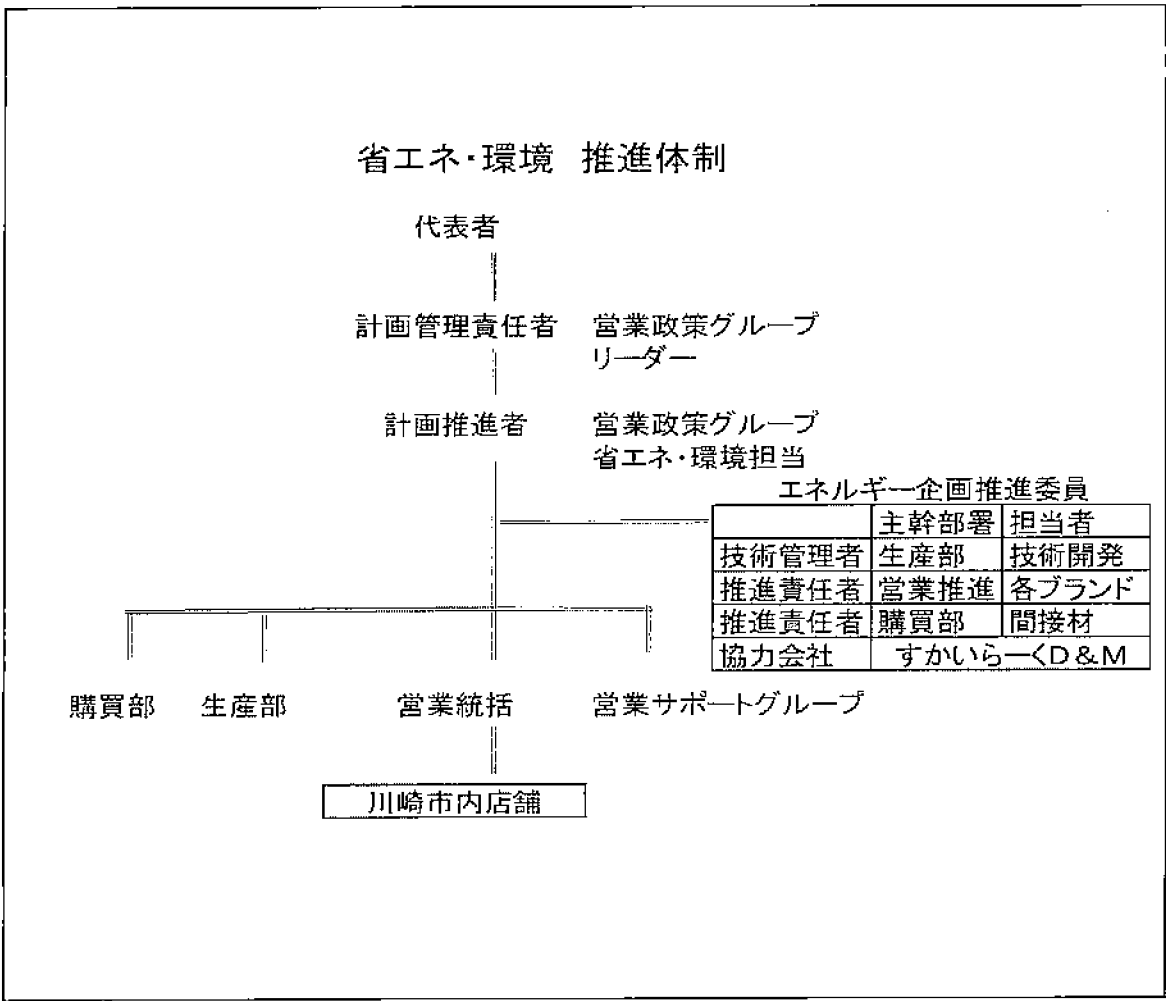
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

”大量生産・大量消費・大量廃棄型”の経済社会から脱却し、一人ひとりの豊かさの追求と自然環境への感謝の気持ちを失わず、原材料の調達から商品提供、廃棄まで”いつも安心・いつも安全”、”無駄の排除”を実践し、ゼロエミッションを目指します。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

ゼロエミッションに向けた取組みとして、省エネルギー分野では毎年 1%の温室ガス削減を図ります。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
基 準 年 度		2018		年度	
目 標 年 度		2021		年度	
基 準 排 出 量		(実) 8,124		(実)	
		(調) 8,075 t-CO ₂		(調)	t-CO ₂
目 標 排 出 量		(実) 7,880		(実)	
		(調) 7,833 t-CO ₂		(調)	t-CO ₂
削 減 量		(実) 244 t-CO ₂		(実)	t-CO ₂
内 訳	対策実施による削減量	(実) t-CO ₂		(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 244 t-CO ₂		(実)	t-CO ₂
削 減 率		(実) 3.0 %		(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量					
原 単 位 の 単 位					
基 準 年 度 の 値					
目 標 年 度 の 値					
削 減 率		%		%	

ウ 目標設定に関する説明

店舗設備への定期的な清掃・メンテナンスを実施し、設備能力を維持する。 店舗毎に設備機器リストを作成し、空調機・厨房機器の故障入替判断、高効率機器の計画的入替を実施し、更なる削減を図る。また、店舗での設備運用ルールを再確認、徹底する。 上記対策により、年1%の削減を目標とする。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計 画	1. 予防メンテナンスの実施 空調機、冷蔵・冷凍庫、調理機器等の点検清掃を毎月項目を決め実施する。 2. エアコンの計画的入れ替え 経年数の長いものから、高効率の機器に入れ替えを行う。 3. エネルギー使用の把握 市内店舗は基本的に毎日エネルギー計測を行い、使用量を把握する。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	屋根への設置はリスクが大きく、他に適当な設置場所がない為、導入せず。
風力	○	設置場所がない為、導入しない。
バイオマス	○	コストが上昇する為、導入しない。
未利用エネルギー		
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
燃料電池 (3kw)	静岡県内1店舗	2017年
燃料電池 (3kw)	静岡県内3店舗	2018年
燃料電池 (3kw)	東京都内3店舗	2018年
燃料電池 (3kw)	東京都内2店舗	2019年

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特になし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	2018年12月ガスト全店でプラスチックストロー廃止。今後すかいらく全店で廃止予定。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	8,124	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

4,260	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

66

(2) 事業所等单位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂